

## 60%以上の方がマイバッグ持参

マイバッグ持参率は、「レジ袋ゼロ運動」実施前（19年3月）は42%でした。今年の調査では、「レジ袋ゼロ運動」協力店では90%以上、協力店以外では40%となっています。全体の持参率では60%以上と、「レジ袋ゼロ運動」が市民のみなさんに浸透し、着実に「レジ袋ゼロ」に向かっていきます。



## レジ袋 激減しています

「レジ袋ゼロ運動」協力店のうち、大手スーパー、Aコープ、ホームセンターなどでのレジ袋使用枚数は、18年度の473万枚から、19年度では58万枚に激減しています。（減少率は約88%）

「レジ袋ゼロ運動」は、私たちが身近にできる環境へのやさしさの第一歩です。マイバッグを使うことをきっかけに、使い捨てのライフスタイルを見直してみましよう。

## 買い物には マイバッグを お忘れなく！



レジ袋ゼロ運動推進連絡会  
会長 志和清美さん

レジ袋の70%減量を目標に、消費者団体、婦人団体、商工会などで「レジ袋ゼロ運動推進連絡会」を結成し、マイバッグ持参を呼びかけるキャンペーンやアンケート調査などを行なっています。レジ袋削減はごみ問題・環境問題の解決手段のひとつとして全国的に広がっていますが、佐渡市では、いち早く「レジ袋ゼロ運動」に取り組み、市民の皆さんのご理解とご協力で、マイバッグを持参する方が増えています。今後も、さらにこの運動を拡大するための取組みを進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 佐渡が好きだから ポイ捨てゼロ

清潔で美しい島づくりのため、一人ひとりが考え、そして行動することが大切です。

## なくならないポイ捨て

「ポイ捨てはいけないこと」誰でも知っているはずなのに、なぜなくならないのでしょうか？

市では、市民の皆さんからご協力をいただきながら、クリーンアップ大作戦を始め、佐渡市一斉清掃など地域のボランティア清掃活動を実施して、環境美化に対する市民の意識やモラルの向上に努めてきました。

これまで「環境の島 エコアイランド」を提唱して、さまざま取組みを展開していますが、残念ながら日常的な視点から見るとポイ捨てやごみの散乱、不法投棄ごみは依然として後を絶たず、解消されていません。

## 清潔で美しい島づくりの実現へ

○灰皿が設置されている場所以外での喫煙はやめましょう

・屋外の公共の場所、灰皿が設置されていないところでは喫煙しないでください。

・携帯灰皿を利用しましょう。

○ポイ捨てをするのはやめましょう

・屋外で出たごみは、持ち帰るか設置されたごみ箱に入れましょう。

○飼い犬のふんを放置してはいけません

・飼い犬の散歩には、ふんを回収するための用具を携帯し、ふんは放置しないで持ち帰りましょう。

○事業者の方は、自動販売機による飲料販売をする場合、回収容器の設置と適正な管理をしましょう



ふんは持ち帰ってください！

